

**授業概要**

初等教科教育法（音楽）について講義する。低学年・中学年・高学年とそれぞれの学年の音楽的発達や教材との関連についても取り上げる。また、ICT教材の理解についても深めることで、多角的な授業展開についても考察する。それらを踏まえて、音楽の学習指導案の作成と授業の計画を立て、効果的な音楽教育の在り方を探究する。実際に模擬授業も行うことで、教育現場に必要な実践力を育成する。

**授業計画**

第 1 回	ガイダンス、授業目標・概要の理解、模擬授業のグループ編成
第 2 回	グループ活動① 音楽教育について
第 3 回	グループ活動② 小学校音楽科の目標と学習指導案について
第 4 回	グループ活動③ 小学校音楽科の「表現」について
第 5 回	グループ活動④ 小学校音楽科の「鑑賞」について
第 6 回	グループ活動⑤ ICT を活用した授業例①（タブレットや PC を使った学習等）
第 7 回	グループ活動⑥ ICT を活用した授業例②（タブレットや PC を使った鑑賞等）
第 8 回	模擬授業に向けた学習指導案の再考①（目標の設定等）
第 9 回	模擬授業に向けた学習指導案の再考②（授業展開の設計等）
第 10 回	模擬授業及び検討会①（低学年表現）
第 11 回	模擬授業及び検討会②（低学年鑑賞）
第 12 回	模擬授業及び検討会③（中学年表現）
第 13 回	模擬授業及び検討会④（中学年鑑賞）
第 14 回	模擬授業及び検討会⑤（高学年表現）
第 15 回	模擬授業及び検討会⑥（高学年鑑賞）
第 16 回	筆記試験

**到達目標**

- ① 小学校学習指導要領「音楽」について理解することができる。
- ② 授業に適した学習指導案を作成することができる。
- ③ 実際に授業を実施することができる。
- ④ 学習指導案の作成や模擬授業の実施によって、自己分析及び改善することができる。

**履修上の注意**

- ・春期「音楽」の授業内容をはじめとした、音楽の基礎的な知識を理解しておくこと。
- ・よりよい模擬授業、学習指導案の作成ができるように主体性をもってグループ活動等に参加すること。
- ・複数人での活動も多くあるため、協力して進めること。

**予習・復習**

- ・毎回の授業の予習・復習は毎日継続的に行うこと。
- ・日常的に様々な音楽に触れること。
- ・歌唱やピアノ等の練習も主体的に行うこと。

**評価方法**

筆記試験 40%、模擬授業 30%、提出物（学習指導案・振り返り）20%、授業態度 10%

**テキスト**

- ・教科書名：(1) 小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 音楽編 (2) 小学生の音楽 1～6
  - ・著者名：(1) 文部科学省 (2) 小原光一他
  - ・出版社名：(1) 東洋館出版社 (2) 教育芸術社
  - ・出版年 (ISBN)：(1) 2018 年(9784491034652) (2) 2024 年(978-48778898 45、52、69、76、83、90)
- ※(2)はこちらで資料として配布するが、各自用意しておくことが望ましい。